口大文第３６号
令和元年12月25日

関係大学長
関係機関の長　　殿

山口大学人文学部長
高木　智見
（公印省略）

教員の公募について（依頼）

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、このたび本学部では、下記の要領により教員を公募することになりました。
つきましては、ご多用中誠に恐縮でございますが、貴機関関係者の方へご周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

１．所属講座　人文学部人文学科欧米言語文学講座
２．採用職名・人員　講師１名（女性限定）
３．専門分野　英語圏文学あるいは英語圏文化（比較文学、比較文化、異文化理解、あるいは広義の文化論等を含む）
４．担当授業科目
学部：英語圏文学や英語圏文化に関わる専門科目
英語圏文学や英語圏文化の卒業論文指導に関わる専門科目
英会話、英作文、時事英語など実用英語に関わる専門科目
その他の学部科目
大学院：英語圏文学や英語圏文化に関わる専門科目
共通教育：英語関連科目、基礎セミナー
その他：教員免許に関わる科目
＊上記のすべての授業科目を毎年度担当するということではありません。
＊担当授業科目は将来変更される可能性があります。
５．応募資格
次の(1)～(7)の条件をすべて満たしていること
(1) 女性であること
※　山口大学は男女共同参画を推進しており、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、女性教員を採用します。
(2) 英語圏文学あるいは英語圏文化（比較文学、比較文化、異文化理解、あるいは広義の文化論等を含む）を研究対象とする者
(3) 当該分野あるいは関連分野において博士学位またはPh.D.を有するか、それと同等の能力を有する者

(4) ①英語母語話者、もしくは、②それと同等の英語能力を有する者（日本語母語話者も含む）
(5) 日本語母語話者でない場合は、授業やその他の業務に支障ない日本語運用能力を有していること
(6) 学部・研究科および大学の運営業務（入試業務を含む）に携わる能力及び熱意を有する者
(7) 採用後、山口大学吉田キャンパスに通勤可能な地域に居住できる者

＊日本の高等教育機関における教育経験（常勤もしくは非常勤）を有することが望ましい。

6．採用予定年月日　令和２年１０月１日
7．応募期限　令和２年３月１６日（月）必着
8．提出書類（書類(1)(2)(4)(5)は、A4 用紙で作成すること）
(1) 履歴書（写真貼付）　１通
＊学歴は、高校卒業時以降を記載してください。
＊教育経験（非常勤講師を含む）を有している場合は、履歴書の職歴記載欄に、担当した科目名なども記入してください。
(2) 研究業績一覧表（別紙様式）１部
(3) 主要研究業績（現物または抜刷。コピーも可）３点・各３部
(4) 主要研究業績要旨　１部
((3)の各業績について日本語 400 字程度の要旨を記したもの。様式は自由）
(5) これまでの経験を踏まえた今後の研究・教育に向けた抱負を、1,000 字程度の日本語で書いたもの
(6) 取得学位の学位記の写しもしくは学位証明書
9．選考方法
書類審査による第一次選考の後、第二次選考として面接（20 分間程度の模擬授業を含む）を行います。面接のための来学費用は申請者が負担するものとします。
また、選考過程で追加の資料提出を求めることがあります。
１０．その他
給与等雇用条件は、本学の規定によります。
新年棒制導入後は、年棒制へ切り替えることもあります。
１１．応募書類提出先
〒753-8540　山口県山口市吉田１６７７－１
山口大学人文学部総務企画係
欧米言語文学講座人事担当　宛
１２．問い合わせ先　山口大学人文学部総務企画係
電話：(083) 933 - 5200 (代表)
E-Mail ：hc143@yamaguchi-u.ac.jp

＊封筒の表に「欧米言語文学講座教員応募書類在中」と朱書し、「簡易書留」や「レターパック」、「宅配便」など、受領確認ができる配送手段で送付してください。
＊応募書類により取得する個人情報は、採用者の選考、及び採用の手続きに利用するものであり、この目的以外で使用することはありません。
＊応募書類は、原則として返却いたしません。

研　究　業　績　一　覧　表

＊著書・論文・参考は，それぞれ別葉にて作成願います。

著　書・論　文・参　考（該当のものに○をつけること。）				
No.	題　　目	掲載誌又は発行所	発　行　年　月	備　　考

YAMAGUCHI UNIVERSITY
山口大学

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めていきます。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

http://www.yamaguchi-u.ac.jp/diversity.html

研究についての支援

研究補助員制度

ライフイベントを抱える本学の女性教員または配偶者が大学等の研究者である男性教員を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の女性教員または配偶者が大学等の研究者である男性教員を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生サポーター制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミィ学級（吉田キャンパス）

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミィ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園（小串キャンパス）

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型保育所

地域の企業主導型保育施設（3施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等利用助成制度

教職員(共済または社会保険加入者かつ配偶者がある場合には配偶者が就業中の方)のお子様が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸し出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

遠距離介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供するサービスを受けることができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話等を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラーが、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。

月曜日　9:00-17:00
水曜日　9:00-17:00